

地域生活支援施設つどいが開設しました



玄関前の木製看板

地域生活支援施設つどいの全景



400名の来場があった内覧会時の認知症カフェの風景



つどい職員が勢ぞろい

桜井の里 / 〒959-0318
新潟県西蒲原郡弥彦村大字籠3036番地
TEL(0256)94-3939/FAX(0256)94-2552

分水の里 / 〒959-0133
新潟県燕市新堀2479番地2
TEL(0256)97-7111/FAX(0256)97-7100

生きがい広場地蔵堂 / 〒959-0120
新潟県燕市分水栄町1番3号
TEL(0256)97-7117/FAX(0256)97-7119

はな広場 / 〒959-0111
新潟県燕市横田9948番地1
TEL(0256)47-1222/FAX(0256)63-4050

つどい / 〒959-0130
新潟県燕市分水桜町3丁目3番16号
TEL(0256)77-5511/FAX(0256)77-5020



平成二十七年
分水の里運営方針
施設長 横山 稔

はじめに
 第六期介護保険計画がスタートいたしました。介護サービスの内容は着実に充実してきていますが、今回の改定は、今まで以上に介護の質を問われる内容になっているものと捉えています。質を問われる方から評価いただけるよう、一歩一歩取り組んでいきたいと考えております。
 分水の里においては、その人がその人らしくいつまでも今の生活を営んでいけるよう、昨年度から「自立支援介護」に取り組んでおります。当たり前のことを当たり前に「介護のプロ」が行う「プロのケア」を提供することで、ご利用者が安心して暮らせることを第一の目的に、またそれに伴い職員の高質向上にもつなげていきたいと考えております。
 今年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【原点に戻ります】

- ①もう一度、自宅での生活に戻りましょう。
 ここは在宅生活の延長線としての個人の住宅であり、そこにケアが付いたものです。自宅で生活されていると同じく、わがままいっばいお過ごしください。《生活の見直し》を継続的に行なっておりますが、あたりまえの生活をあたりまえにお送りいただけるよう支援いたします。
- ②ひとりひとりの歴史を大切に、「自宅」と「ふきの里」を繋げます。
 「自宅」と「ふきの里」を結び取り組みを行います。初回アセスメント時には、可能な限り「自宅」にもお邪魔させていただきたいと考えています。その人の生活されてきた地域・自宅を理解した上で、その人の生活支援を行います。
- ③お客様へ、職員へ：私たちの接遇はできていますか？
 「接遇」は私たちの基本です。挨拶、返事、態度、心からの笑顔、そして皆様への関わり方。またそれぞれが注意し合える関係づくりも行います。
 お客様へ、職員の皆さんへ：「私たちの接遇はできていますか？」

春爛漫

少し肌寒い日もありましたが、皆さんの笑顔で暖かく感じました。



観劇鑑賞
 ホテル飛鳥に行ってきました

間近で観る生の舞台に皆、大興奮。公演後には出演者の皆さんと一緒に記念撮影をしました。



ふきの里 Vol.2

前回から始まりました分水の里の部署紹介。シリーズ第2弾は事務・管理課編です！



笹川管理課主任より

細やかな気遣いで分水の里においでになった皆様がまた来たいと思ってくださるよう、笑顔と共に気持ちを込めたおもてなしを心掛けています。

“お茶処一茶”で一服。おいしいお茶を用意して皆様をお待ちしています。気軽に声を掛けて下さい。



分水の里の縁の下のみちとして日々頑張っています。



ほほのギャラリー

ひな祭りでは、各部署でおやつを作ったり、お茶をたてたりしました！



私達はあんこ担当



私達は生地作り



食べてニコニコ (^ ^)



晴れた日にはロビーで新聞を…

DSさくら
皆で作った力作



皆で食べるとおいしいね



お茶をたてながらハイチーズ！



上手く出来たろ！

節分豆まき



2月3日の節分の日、ご利用者と職員と一緒に豆まきを行いました。一年の健康と福を願い皆様元気いっばいに豆をまかれています。豆まきが終わると鬼と仲良く記念撮影をしました。



節分の書初め



豆まきの後は鬼と仲良し



てまりに鬼がやってきました！



ひなまつり



3月3日、春の訪れを感じさせる風とともに、ひな人形が分水の里にやって来ました。女性ご利用者はもちろん、男性ご利用者も、ひな人形と記念撮影をしたり、おひな様やお内裏様になりきって、ひな祭りを楽しまれました。



平安貴族みたいです！



一緒にお祝いしました



おひな様と一緒に



もみじのお内裏様とおひな様



現在

こちらの写真は、おいらん道中に出られた時の写真です。ご近所でも有名な美人さんだったそうです。
若い頃は、お店を営まれていました。今でもにぎやかなことがお好きで、きれいな歌声を披露して下さることがあります。

20代

宮路フミ様



私の自慢の1枚

桜井の里

たより



平成二十七年 度

桜井の里 運営方針

施設長 土屋

誠

1. はじめに

桜井の里は地元の皆様、ご利用者の皆様に支えていただく中で新年度を迎えることができました。四月の介護保険制度の改定により、高齢者の方々が地域で健康で暮らすことを続けられるシステム作りが即急の課題となってきました。また、介護報酬の改定により、事業所は報酬の大幅なダウンとなり経営は厳しい状況となりました。

その中で、今年度はご利用者の皆様が住み慣れた地域、わが家で継続して暮らしていたできるように桜井の里の各部署、各フロアが一つになり桜井の里全体でサポートしていきます。

また、桜井の里に來園される皆様が「桜井の里に來て良かった」と言っていたただけのようにはなりません。そして、「私自身や、私の大切な人が利用しても良い施設」と、職員が言えるようになることを目標にしていきたいと思っております。

2. ケアの基本的考え方

①生活単位とケア単位を同じにし、あわせてご家族単位を一緒にします。

②ご利用者との関わりを個別担当制にします。

③ご利用者お一人おひとりの気持ち、想いを大切にします。

④ご利用者お一人おひとりの生活リズムに合わせたケアを行います。

⑤ご利用者と共に地域に出て行きます。

3. 今年度の重点方針

①桜井の里に來園される全ての方々を心よりお迎えします。(職員一人ひとりの気持ち、表情、言葉、振る舞い、そして環境を暖かみのある場所にします。)

②ケアプランを通してご利用者お一人おひとりが考え、望んでいられる生活の実現に向けて、ご家族の方々と一緒に考えていきます。

③家族懇談会を定例化し、ご家族の想い、考えをお聞きます。

④ご利用者への支援は各部署、各フロア、職員一人ひとりが互いに協力して、それぞれの仕事为重なり合う仕事をします。

⑤職員一人ひとりの担当、役割りに責任を持った仕事をします。(ご利用者担当、役職、委員会、部署の担当等の一つひとつの仕事に責任を持ちます。)

4月は、近隣のお花見や弥彦湯かけ祭りに行ってきました。

桜の開花が少し遅れたようですが、綺麗な桜の花を今年も見ることができました。また、弥彦湯かけ祭りでは、神湯をかけていただき、伝統行事に触れることができました。

春満開



天候にも恵まれ、春の訪れを感じることができました。



弥彦・分水・燕・国上山…どこも満開ですばらしかったです。





節分 ひなまつり



2月3日、“鬼は外、福は内”節分には無病息災を願い、みんなで豆まきを行いました。

又、3月3日のひなまつりには、それぞれのフロアでおやつづくり。男性も女性も参加して楽しい会となりました。



祝 5周年

3月15日、開設から5年目を記念し、もちつき会を行いました。ご利用者・ご家族・職員を含め50名以上の参加となりました。

アットホームな雰囲気の中、つきたてのもちを堪能し、スライドショーで絆の5年間を振り返りました。後日、ご家族より「素敵な会でした」とお手紙を頂き、これを励みにまた一歩ずつ皆様との“絆”を深めていきたいと思ひます。



居酒屋なでしこ 開店

2月17日、今回のテーマは“バレンタイン”

洋食のメニューを中心に様々な料理が並びました。総勢95名の方々に参加して頂き、とても賑やかな一夜となりました。



「日々の風景」写真館



友達同士久しぶりの再会



元気にタオル体操！



七宝焼難しいな～！



いとしげらな～



懐かしのあやとり



たこなしたこ焼き
ごっつおになった！



奥様の肩もみが日課です



日課の読書中



弥彦小学校の生徒さんから
プレゼント

生きがい広場地蔵堂

デイサービス
地域の茶の間
シニアハウス



地域の寄り合い所として

センター長 小杉 裕子

生きがい広場地蔵堂は開設して十年目を迎える年となりますが、介護予防の考え方が大きく変わろうとしており、今年度生きがい広場地蔵堂・デイサービスでは、国から示された考え方を基に、この節目の年となる平成二十七年に介護予防通所介護の提供時間の見直しを行いました。今回の介護報酬改定で示された内容では、厳しい状況の中、事業運営を行う事になるわけですが、変化するデイサービスのあり方に一層気を引き締め、『ご利用者自ら選択して頂く』『自立支援』というコンセプトを大切に、これからも生きがい広場地蔵堂らしいサービスを行いたいと考えます。

又、社会福祉法人の行う地域貢献として、今まで以上に生きがい広場地蔵堂の事業所を活用して頂けるように、地域包括支援センター及び地域と連携し、新たな取り組みも試して、生きがい広場地蔵堂が寄り合い所としての機能が果たせるよう地域支援事業を明確にして、今年度の目標に掲げ運営していきたいと考えます。

地域支援活動として

- ◇足湯及びロビーの一般開放を行います。
- ◇デイサービスを終了した時間を活用してお風呂の一般開放を行います。
- ◇地域との交流会を開催いたします。
- ◇地域包括支援センターが行う、相談機能を充実したカフェの開催に向け、開催場所の提供とデイサービスの生活相談員が参加する地域貢献を実現いたします。

お花見ドライブ

分水駅前や「日本さくら名所100選の地」大河津分水桜並木等、桜の名所へドライブに行き美しく咲き誇る桜を鑑賞した後、お菓子屋さんでおみやげを買ったりとても楽しかったです！



おいらん道中見学

今年は晴天に恵まれ、生きがい広場近くの地蔵堂本町にて生きがい広場職員も傘持ちで参加した絢爛豪華なおいらん道中を見学しました。



ひな祭り

手作りの衣装に着替えおひなさまの前で記念写真を撮影したりお茶に心得がある職員・利用者様がお茶を点て、ひな祭りをお祝いしました。





はな広場

平成二十七年 度

はな広場運営方針

施設長 川村 小津江



はな広場は地域密着型施設として、一歩づつ出来ることから進めてまいりました。開設五年目を迎えるにあたり、もう一度『はな広場らしさ』とは何かを考え、法人の理念を柱に、はな広場の基本理念を大切に運営してまいります。

「はな広場基本理念」

『住み慣れた地域で最期まで、

おひとり一人のこれまでの暮らしを支えます』

おひとり一人のこれからの暮らしを支えます』

【平成二十七年重点目標】

① はな広場・しまかみはユニット型施設として「入居者ひとり一人の生活習慣や思い・願いを尊重し、自律的な生活が継続できるようにサポートする」というユニットケアの目指すべき視点を実践の中で具体化してまいります。

② はな広場・よこたの家は地域で自宅で暮らし続けたいと願う利用者・ご家族の思いに添えるように、お一人ひとりとして向き合い、小規模多機能型居宅介護事業の柔軟性・即時性を活かした生活支援を実践の中で具体化します。制度改正の中で、訪問機能の充実、総合マネジメント支援の実践に努めます。

③ 入居者・利用者の会を毎月開催し、それを受けてユニット会議を行い「主役は入居者・利用者」を職員一同確認しながら、「良いことはすぐ実行」、「共に暮らしを楽しむ」ことを大切にしていまいります。

④ はな広場・生きがい広場地蔵堂・燕市分水包括・地域生活支援施設「つどい」が同一の拠点として連携を図りながら運営します。事業所が離れて位置しますが、細やかな情報伝達、情報共有を行い、地域に根差した良質な支援を実践するための職員スキルアップに努めます。

⑤ 地域密着型施設として、はな広場でできる市域貢献を行います。地域の子供からお年寄りまで、世代を超えた地域交流の場を具体的に実践します。



お花見



カンパイ!



桜に負けぬ美しさ!



晴天のもとで、桜を満喫しました



桜の下でピクニック!



ひな祭り

なかよし♪



ひな人形と一緒に仲良くはひ、チーズ!



お世話になっている主治医の先生に愛をこめて



いつもありがとうございます



節分

ガオー!



手作りで恵方巻を作りました。その後は鬼退治です!



できました!

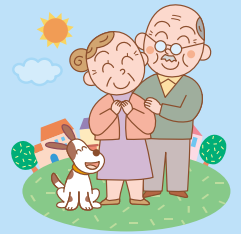
ホワイトデー



愛情たっぷりのクッキーを、愛をこめて届けました



こいて・我が家・縁



少人数なので気心も知れた仲間と楽しい毎日を元気に過ごしています。



鬼たちと
仲良く記念写真

鬼がいるから
怖いわ~



美味しい
恵方まき
も食べま
した~!



よし!
これから
鬼退治
するぞ~!

グループホーム 我が家

節分

今年も我が家には、鬼がやってくる皆さんの無病息災を祈念して豆まきをして楽しいひと時を過ごしました。



わっ!おいしくてたまげた!



ひな祭り御膳の完成!



皆で作るって~!!



オメさんも食べるかね?



良い味だね~



ひな祭り

グループホーム 縁

今年のひな祭りのごちそうは、お刺身がたっぷりに乗ったチラシ寿司です。女性だけでなく男性の力も借りてとてもおいしくできました。



弥彦まで外食に



これからもお元気でいて下さい

誕生会

1・2・3月は、誕生日を迎えられた方がたくさんいました。外食に出かけたり、家族も一緒にケーキでお祝いしたりしました。



家族そろってハイ、チーズ



おめでとうございます



いただきまーす



ごちそうのできあがり



ごちそうの準備中です...



ひな人形作ったよ!

グループホーム こいて

ひな祭り

3月3日、この日は「ちらし寿司」「菜花のおひたし」「ぜんまい煮」「潮汁」を囲んでのごちそう。



グループホーム

グループホームは、家庭的な環境の下、皆で楽しく共同生活をしています。



分水の里の
ひな壇、立派うね~



手作りお寿司!
美味しく
作らなくっちゃね~!



ひなまつり
桃の節句に皆さんでひな寿司を作っ
て楽しみました。
女性にとつては、やはり ひなまつり
は特別ですね。

~完成~
さくら木のひな祭り御膳



~完成~
やまぶきのひな祭り御膳



良い男とご馳走
食べられて幸せら~♡

美味しかった
たわよ~



や
ら
ら
ら
の
い
し
た
か
ん



そうそう



お
き
な
い
な
ら
な
か
ら



あら、
いいわね~

~日常風景~

下ん家の方々は出雲崎へドライブと買
い物へ、好きな物を買った後はきれいな
海を眺めて楽しめました。上ん家は固
餅作り、餅つき機を使いこなし、職員よ
りもテキパキと作って下さいました。



職人技!!



機械の使い方もお手のもの



日
常
風
景



みんなでお花作り



りんごの皮むき中~



桜が満開



ごちそうがたっさん



職員の送別会がありました



大戸の公園までお花見
に行ってきました。絶好
のお花見日和でした。



菜の花も咲いてました



職員紹介!



ケアプランセンター 分水の里
介護支援専門員 **本間 静子**

平成8年9月1日より櫻井の里福祉会で働いています。「7ヶ月の臨時職員の仕事があるけど、どお？」と話しを頂いてから現在に至っています。

介助員、介護職員、在宅支援センター職員、介護支援専門員、計画作成担当者兼介護職員と、職種が変わったり、務める場所も変わり、今年4月よりケアプランセンター分水の里勤務になりました。17年の間に夫が亡くなり、姑も看取りました。仕事、子育て、家の事と、色々大変な時を乗り越えて来たのは、働く場所があり、話を聞いてくれる上司・仲間がいたからです。子供も大きくなり生活が落ち着いて来て始めた新舞踊も8年になります。仕事とプライベートが両立出来る事に感謝しながら今後も働いて行きたいと思えます。



生きがい広場地蔵堂・デイサービス
管理栄養士兼調理員 **池田 香奈子**

分水の里に3年間、その後生きがい広場に異動となり、入社5年目を迎えました。最初は野菜も上手に切れず、大量調理に四苦八苦し悩むこともたくさんありました。しかし上司・先輩職員の熱心なご指導、ご利用者・職員・同期と職場で出会った温かい支えにより、現在は厨房二人きりの職場ですが、管理栄養士として、調理員として、楽しく仕事をさせて頂いています。ご利用者とたくさん関わられる下膳の時間が大好きで、ご利用者の笑顔と「おいしかったよ」が仕事をがんばる源です。

自宅の白根からの通勤は大変ですが、休日はヨガ、ビーチテニス、旅行等アクティブに息抜きをしています。

4年間のご利用者、職員、地域の方々との恵まれたご縁に感謝し、提供する食事でご利用者がいつまでも食事に喜びを感じて頂けるよう、努力を惜みず、これからも仕事と向き合っていきたいです。



高齢者総合生活支援施設 はな広場・よこたの家
介護職員 **横山 香織**

櫻井の里福祉会に入社して5年が経ちました。

社会人として初めての職場で失敗や悩んだこともたくさんありましたが、ご利用者の笑顔と職員の皆さんに支えられ、ここまで続けてくることが出来ました。私生活では一人暮らしを始め、親のありがたみを感じながら、新たな生活を楽しんでいます。

これからも自分らしく、そして皆さんに頼りにされる職員になれる様日々努力していきたいと思えます。



特別養護老人ホーム 桜井の里 ひまわり
生活支援課リーダー **小林 清美**

桜井の里に異動して2年目となりご利用者の方から声を掛けられることも少しずつ増えてきました。「ご利用者と一緒に自分も楽しむ事！」をモットーに介護の仕事をして15年ですが、ご利用者の方から励まされたり、体を気遣って優しい言葉を掛けてもらうこともしょっちゅうです。

人生の先輩に色々なことを教えて頂きながら信頼してもらえる職員に成長していきたいと思えます。



デイサービスセンター 桜井の里
言語聴覚士兼機能訓練指導員 **宮路 昌**

デイサービスセンター桜井の里へ就職して6年が経ちました。ご利用者と過ごす毎日が楽しいです。リハビリ、セラバンドを使った体操、ノルディックウォークなどご利用者と楽しく身体を動かしています。

1月には第1子となる長女が誕生し家族が増え充実の毎日です。また、最近では健康と体力作りのために自転車に乗っています。同僚に作ってもらったお気に入りのピストバイクです。

桜井の里で、良き先輩・同僚・仲間にも恵まれました。そんな桜井の里が大好きです。これからもご利用者の笑顔とチャレンジを大切に頑張ります。



デイサービスセンター 分水の里 さくら
理学療法士兼機能訓練指導員リーダー **佐藤 学**

子供の成長を機に生まれ育った新潟市へ戻ることを決め、昨年より桜井の里福祉会に入社して1年が過ぎました。まだ1年だというのに、多くの方からは「もっと前からいるみたいだね」と、すっかりお馴染みの人に。聞き慣れた方言に懐かしさを感じながら、今までの経験を活かし、日々勉強させてもらっています。

そんな私ですが、子供との関わりの中で「食育」に興味を持ったことから、この時期は家庭菜園を楽しんでいます。ベランダの一角にプランターでミニトマトを植えたことからはじまり、今は実家の畑の一角に場所を移して、より本格的に。そして子供たちの楽しみはイチゴ!今年もたくさん花をつけてくれました。親子で手入れをしながら、実がなる日を待ち望んでいます。

これからも仕事を充実させながら、家庭では良きパパを目指していきたいと思えます。ご指導のほど、よろしくお願いたします。

夢・キラリ

この2ページは、職員の夢や思いに、あるいは法人の取組などにフォーカスしていくページですので、今後ともご声援どうぞよろしくお願いいたします。



グループホームつどいの家・桜町
介護職員 須藤雄紀

はな広場の開設と同時に入社して3年半が経ち、今年度から新規事業の「つどい」へ異動となりました。

日々大変な事の連続ですが、入居者様の笑顔や職員の皆様を支えられ、忙しくも楽しい毎日を過ごしております。また後輩職員も増え、先輩職員としての自覚をより一層強く持ち、仕事に取り組んでいきたいと思っております。

私生活では、趣味のロードバイクやテニス、スノーボード、ダーツと身体を動かす事が好きで、今年はロードバイクの大会に昨年以上に参加する事を目標に、自転車チーム「Team ケア」での活動も増やしていけたらと思っております。アウトドアに活動しているため、どこかで見かけたら声を掛けて下さい。

これからも仕事、プライベート共に己を磨き続け、ロードバイクの様に一歩一歩の前進を大切にしていきたいと思っております！



グループホーム 我が家
計画作成担当者兼介護職員 小谷松 恵

桜井の里福祉会に入社して11年が過ぎました。今までショートステイでまりで務めさせて頂き、この春よりグループホーム我が家に異動となり、やまぶき家で介護の他に計画作成の仕事を兼務させて頂く事になりました。ご利用者をはじめ、ご家族様・地域の方々・スタッフに支えて頂いている事に感謝しながら、皆さんと生活を楽しく過ごせるようお手伝いさせて頂きたいと思っております。

ある日の畑・収穫の風景

桜井の里福祉会では、ご利用者が昔行ってきたことを生かし、誰でも主役になれるサービス提供を心掛けております。その一環として畑できゅうりやナス、トマトなどの農作物を作っています。畑を耕すところから、草取り、水やり、収穫までご利用者が中心に行ない収穫された野菜は他のご利用者と一緒においしいいただいております。農作物の出来に一喜一憂しての共同作業ですが、夏・秋の豊作を目指して、今年も畑仕事が始まります。その様子をどうぞご覧下さい。



特別養護老人ホーム桜井の里にて



デイサービスセンター桜井の里にて



デイサービスやまびこにて



デイサービスセンター分水の里さくらにて



生きがい広場地蔵堂にて



はな広場にて



はな広場にて



地域生活支援施設つどい利用相談・申込受付開始

おかげさまで3月30日、燕市第5期燕市介護保険事業計画に基づき、燕市分水桜町に「地域生活支援施設つどい」を開所する運びとなりました。つどいは2つの事業を併せ持ち、ひとつがグループホームつどいの家・桜町（2ユニット定員18名）、もうひとつが小規模多機能ホームつどいの家（登録定員29名）です。他、どんな方でも気軽に利用できる認知症カフェや足湯も備え、「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい。」そんな願いを支援いたします。場所は旧分水町役場跡地であり、皆様方にも馴染みのあるところで運営できることを大変うれしく思います。

特に小規模多機能ホームつどいの家は、登録された方や、ご家族含めたご希望に合わせて「通い、泊まり、訪問」という機能を発揮し、あくまでも在宅生活を支えていくサービスです。

今までの事業同様、地域に根ざし貢献していく所存ですので、皆様どうぞ気軽に、ご相談・ご見学にお越し下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。



地域生活支援施設つどい
施設長
青木裕子

法人からの
お知らせ!!



認知症カフェ



足湯コーナー



小規模多機能ホーム つどいの家



グループホームつどいの家・桜町（はなみずき）



グループホームつどいの家・桜町（やまほうし）

お問い合わせ ☎0256(77)5511まで

新規採用職員研修

当方人には職員のスキルアップだけでなく、やりがいを感じられるような研修があります。その中で新規採用職員向けの研修は、集合研修が合計5日間、1泊2日の研修も含んでおり、その後も、3ヶ月間の研修期間があり、職場の指導的職員からしっかり、みっちり知識と技術を修得する体制となっております。



車椅子を使用しての体験研修



インドアアスレチックの様子

入社式・辞令交付式 永年勤続・定年退職者を表彰

今年は新規事業の開所の為、約40名が入社し、又、15年の永年勤続表彰は分水の里の開所時に入社した職員が対象の為、20名の表彰や茶話会を催しました。

代表して保健師 小熊浩子（新潟医療福祉大学卒）より誓いの言葉



理事・監事・評議員の選任について

（敬称略・順不同）

	区	分	氏	名
1	理	事	長	評 議 員 柏 原 雅 史
2	理	事		評 議 員 山 崎 紘 一
3	理	事		評 議 員 本 田 厚 志
4	理	事		評 議 員 安 達 卓 憲
5	理	事		評 議 員 木 下 潤 潤
6	理	事		評 議 員 米 木 久 則
7	理	事		評 議 員 佐 々 木 勝 則
1	代	表	監	事 本 多 克 貢
2	監	事		吉 田 貢 貢
1			評	議 員 渡 邊 富 衛
2			評	議 員 本 多 孝 志
3			評	議 員 河 上 功 功
4			評	議 員 小 川 原 洋 子
5			評	議 員 後 藤 正 彦
6			評	議 員 横 山 裕 裕
7			評	議 員 川 村 小 津 江
8			評	議 員 高 橋 学 学

この4月に上記のように改選となりました。法人運営の重要な事項について、議決・同意を得ながら安定した運営を進めてまいります。（任期はこの4月からの2年間）

福祉避難所の協定締結

緊急時や災害時において、避難される方々が增大することへの対応として、社会福祉法人の社会や地域への貢献、使命ということも含め、燕市様、燕市内の3法人（他つばめ福祉会、吉田福祉会）の各々の福祉施設を避難所として提供したり、人材を含めた相互協力をを行うことを改めて締結しました。

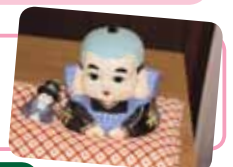
鈴木燕市長と3法人の理事長らによる調印式



介護・福祉の仕事に興味ある方は法人本部 ☎0256(94)3939まで

編集後記

例年にない暑さの5月のスタートでしたが皆様お変わりありませんか？これから夏に向かいますが、しっかり栄養と水分を採り、乗り切る準備をしましょう。食事を抜いたりせず、バランス良い食事を心掛けることが大切です。



ホームページアドレス：<http://www.sakurai-fukushi.or.jp>